



瓊浦高等学校 学校通信 第 137 号

令和 6 年 1 月 31 日 発行 電話 095-826-1261

FAX 095-820-5245



100周年2年前セレモニー

瓊浦学園100周年まで、2年を切りました。そこで、1月23日（火）に、総合体育館で100周年の2年前セレモニーが実施されました。集会の中では、同窓会長の挨拶をはじめ、事前に生徒から募集していた100周年のスローガンおよびロゴマークの決定、発表が行われました。スローガンは普通科1年A組の大橋真彩さんによる「100年の歴史を繋げ～KEIHO Family 絆の力～」に決定、ロゴマークは情報ビジネス科1年A組の沖平紗彩さんによるデザインが採用されました。

スローガン、ロゴマークも決まり、いよいよ100周年までのカウントダウンがスタートしました。在校生においては、瓊浦100年の歴史を感じるとともに、今後の学園の更なる発展にむけ、多くのことに挑戦して欲しいと思います。



～スローガン・ロゴマークについて～

3つの勾玉は、本校の普通科・情報ビジネス科・機械科の3つの科、および3つの学年を表したものです。3つの勾玉を合わせることで、お互いの協調性や一体感を表すとともに、瓊浦の名前の由来でもある「瓊（たま）のように美しい入り江」に打ち寄せる波の様子も表現しています。

また、周りに配置した水しぶきは、そこから新たに生まれてくるもの、つまり創造性や生徒の皆さんの活躍を表現したものです。

そして、それらを囲む大きな円は、赤々と輝く太陽を表し、本校100年の歴史を讃えるとともに今後の希望に満ちた発展を祈る気持ちを込めています。同時に大きな宝の瓊（たま）を表し、在校生や卒業生の皆さんが、「徳・知・体」を美しく磨き上げて、社会で大切にされる人材として成長していくことを願ってデザインされたものです。

課題研究発表会

1月26日、3年生の機械科による課題研究発表会が行われました。今年度は機械科の3年生3クラスが10班に分かれ、それぞれ異なる分野、テーマについての研究発表を行いました。作業工程、研究成果をデータをもとに発表する班、実際の製作物を展示する班など様々でしたが、どの班もオリジナリティー溢れる発表で、楽しそうに1年間の授業成果を発表していました。



大学入学共通テスト

1月13日、14日の2日間、全国各地で大学入学共通テストが実施され、本校からも普通科3年A組の23名が受験しました。今年度の本校生の受験会場は長崎大学。共通テスト特有の、独特な緊張感の中、2日間という長丁場の試験を終えた生徒たちは、皆疲れ切った様子でした。

試験前日には出陣式、2年生による1年前集会が行われ、各自気合いを入れ直し、決意を新たにしていたようです。



瓊浦の窓

「一年の計」

副校長 佐藤 一司

明けましておめでとうございます。早いもので、今年も新年を迎えてから間もなく1ヶ月を過ぎようとしています。まだ冬の季節ではありますが、学校にある卒業記念樹梅園の梅の花も開き始めており、少しずつですが確実に春は近づいているようです。

昔からお正月ごろになるといろいろな場面でよく使われていて、誰もが知っている諺の一つに「一年の計は元旦にあり」というのがあります。皆さんは、この諺の由来について日本が由来という説と、中国が由来という説の2つの説があることはご存じでしょうか。

日本が由来の説は、戦国時代の武将であり三本の矢の逸話で知られる毛利元就（もとなり）が、長男の隆元（たかもと）にあてた手紙の中で伝えた教訓の中にあるそうです。その中には「一年の計は春（元旦）にあり、一月の計は朔（ついたち）（月の最初の日）にあり、一日の計は鶏鳴（一番鶏が鳴く早朝）にあり」という言葉があるそうです。この言葉の意味は、あえて説明の必要も無いとは思いますが、簡単に言うと、何事も最初が肝心であるという戒めの言葉であろうと思います。

一方、中国が由来の説は、明時代の学者である馮慶京（ひょうおうきょう）が著した中国の年中行事や儀式を解説した「月令広義」という本の中の「四計」にあります。この四計とは一日の計、一年の計、一生の計、一家の計があり、前半部分は「一日（いちじつ）の計は晨（あした）（早朝）にあり、一年の計は春（元旦）にあり」という一文となります。これは、毛利元就が残した教訓と言葉もほとんど同じであり、その意味についても一目瞭然です。また、この続きとして「一生の計は勤（つとめ）（勤勉に働くこと）にあり、一家の計は身（健康であること）にあり」と著されているようで、その意味は、「人の一生は、勤勉に働くことで決まる、一家の将来は健康で過ごすことで決まる」となるそうです。

調べてみると、毛利元就と馮慶京はほぼ同じ時代に生きた人のようですので、果たしてどちらが本当の由来なのかは、残念ながら判断できません。たぶん、偶然にもどちらも同じ言葉を残してくれたのだと思います。それにしても、遠く離れた場所で同じ時代を生きていた二人の偉人が、殆ど同じ文言の言葉を残しているというのは、とても興味深いことだと感じます。いずれにせよ、両者ともに、「何事も初頭に目標としっかりと計画をたててこそ、充実した結果を得ることができる。」という教訓を私たちに残し、これが長い時代を経て現代まで受け継がれてきたということになります。

1月も終わりに近づき、もう2月になろうとしています、「思い立ったが吉日」という言葉もあります。私自身も含めてではありますが、まだ、今年目標が明確には決まっていらない人は、改めて自分を見つめ直し、目標に向けて計画的に行動を起こしていきたいものです。

部活動戦績

【男子バスケットボール部】

ウインターカップ2023

1回戦 瓊浦 68-87 帝京安積 (福島)

長崎県高等学校新人体育大会

準優勝

2回戦 82-75 長崎北陽台

3回戦 104-59 佐世保南

準々決勝 92-63 創成館

準決勝 77-75 長崎日大

決勝 81-100 長崎工業

【男子バドミントン部】

九州選抜バドミントン大会

学校対抗戦 優勝

1回戦 3-0 熊本学園大学付属 (熊本)

準々決勝 3-1 唐津南 (佐賀)

準決勝 3-0 九州国際大学付属 (福岡)

決勝 3-0 八代東 (熊本)

個人ダブルス

優勝 吉次 (普1D) ・根本 (普1D)

準優勝 高田 (普2D) ・草ノ瀬 (普1D)

個人シングルス

優勝 高橋 (普2D)

準優勝 草ノ瀬 (普1D)



【柔道部】

長崎県高等学校柔道選手権大会

男子団体 1回戦敗退

女子団体 第3位

個人男子

66kg級

ベスト8 北村 和土 (普2C)

73kg級

準優勝 岩井 大湖 (普1D)

ベスト8 松山 琉生 (普1B)

個人女子

52kg級

準優勝 岩井 静帆 (普2B)

57kg級

第3位 大山 美音 (普1D)

63kg級

ベスト8 井川 結愛 (情2A)

【女子バドミントン部】

全九州高校高鍋大会

(県新人戦団体ベスト4の九州大会)

予選Ⅰ 2勝1敗 1位通過

予選Ⅱ 2勝1敗 2位通過

順位決定リーグ 2勝1敗

結果 16チーム中 第6位

長崎市総合バドミントン選手権大会

個人戦シングルス

準優勝 荒木 瑠実 (普1A)

第3位 前田 沙耶 (普2A)

【女子バスケットボール部】

長崎県高等学校新人体育大会

3回戦敗退

2回戦 107 - 19 玉成

3回戦 49 - 51 創成館

【剣道部】

全国高等学校剣道建依別錬成大会

男子 第3位

女子 トーナメント1回戦敗退

全国高等学校選抜剣道大会

長崎県予選大会

男子 ベスト8

1回戦 シード

2回戦 対 佐世保北

2 (3) - 0 (1) 勝ち

準々決勝 対 島原

1 (1) - 1 (1) 代表戦負け

女子 1回戦敗退

1回戦 対 西海学園

0 (0) - 1 (1) 負け

令和5年度長崎県下女子剣道大会

高校生個人の部

ベスト16 川原 夢華 (情2A)

ベスト16 酒井 陽多 (普1A)

2回戦敗退 荻芽 栞理 (情1A)

2回戦敗退 福地 彩乃 (情1A)

初戦敗退 田崎 杏 (普2A)

初戦敗退 本多 千鶴 (普1A)

一般女子の部

第3位 松田 美結女 (教員)



【卓球部】

全日本卓球天皇杯皇后杯大会

ジュニアシングルス

1回戦敗退 酒匂 颯太 (普1D)

一般ダブルス

1回戦敗退 坂本 (普3D)

大久保 (普1D)

【男子バレーボール部】

長崎県高等学校新人体育大会

2回戦敗退

1回戦 2 - 0 壱岐商

2回戦 0 - 2 西海学園

【女子バレーボール部】

長崎県高等学校新人体育大会

2回戦敗退

1回戦 2 - 0 対馬

2回戦 0 - 2 創成館

2月の主な行事

2月	2日	登校日③
	5日	修学旅行結団式②
	6日	修学旅行② (～9日)
		学校周辺清掃①
	8日	登校日③
	14日	けいほ展 (～18日)
	15日	登校日③
		情報ビジネス科発表会
	20日	道德教育
	22日	卒業式予行
		同窓会入会式
	23日	卒業証書授与式
	26日	学年末考査 (～1日)
	28日	振替休日 (23日)